

宿泊約款



スパホテル アルピナ
飛騨高山

第1条【本約款の適用範囲】

当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令等（法令又は法令に基づくものをいう。以下同じ。）又は一般に確立された慣習によるものとします。

2. 当ホテルが、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかわらず、その特約が優先するものとします。

第2条【宿泊契約の申込】

当ホテルに宿泊契約の申込をしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出て頂きます。

- (1) 宿泊者名
- (2) 宿泊日及び到着予定時刻
- (3) 宿泊料金（原則として別表第1の基本宿泊料による。）及び支払方法
- (4) その他当ホテルが必要と認める事項

2. 宿泊客が宿泊中に前条第2項の宿泊日を越えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込があったものとして処理します。

第3条【宿泊契約の成立等】

宿泊契約は、当ホテルが前条の申込を承諾した時に成立するものとします。但し、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。

2. 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間の基本料金を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが規定する日までにお支払頂きます。

3. 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条および第19条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金について賠償金の順序で充当し、残額があれば、第13条の規定による料金の支払いの際に返還します。

4. 第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払い頂けない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払期日を指定するに当たり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

第4条【申込金の支払いを要しないこととする特約】

前条第2項の規定に関わらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることができます。

2. 宿泊契約の申込を承諾するにあたり、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払い期間を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

第5条【施設における感染防止対策への協力の求め】

当ホテルは、宿泊しようとする者に対し、旅館業法（昭和23年法律第138号）第4条の第1項の規定による協力を求めることができます。

第6条【宿泊契約締結の拒否】

当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。ただし、本項は、当ホテルが旅館業法第5条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。

- (1) 宿泊の申し込みが、この約款によらないとき。
- (2) 满室（員）により客室の余裕がないとき。
- (3) 宿泊しようとする者が、宿泊に際し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
- (4) 宿泊しようとする者が、次のイからハに該当すると認められるとき。
 - (イ) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団（以下「暴力団」という。）（同条第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力）
 - (ロ) 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
- (ハ) 法人でその役員のうちに暴力団員に該当するものがあるもの。
- (5) 宿泊しようとする者が、他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
- (6) 宿泊しようとする者が、旅館業法第4条の第2項第2号に規定する特定感染症の患者等（以下「特定感染症の患者等」という。）であるとき。
- (7) 宿泊に際し暴力的要要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき（宿泊しようとする者が障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成25年法律第65号。以下「障害者差別解消法」という。）第7条第2項又は第8条第2項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。）
- (8) 宿泊しようとする者が、当ホテルに対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第5条の6で定めるものと繰り返したとき。
- (9) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊せることができないとき。
- (10) 岐阜県旅館業法施行条例第5条の規定する場合に該当するとき。

2. 宿泊しようとする者は、当ホテルに対し、当ホテルが前条及び前々条に基づいて宿泊契約の締結に応じない場合、その理由の説明を求めるることができます。

第7条【宿泊客の契約解除権】

宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除する事ができます。

2. 当ホテルは、宿泊客がその責に帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合（第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期間を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いにより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。）は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあたっては、その特約に応じるにあたって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払い義務につ

いて、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。

3. 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊当日の午後8時（あらかじめ予定到着時刻が明示されている場合には、その時刻を2時間経過した時刻）になつても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することができます。

第8条【当ホテルの契約解除権】

当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することができます。ただし、本項は、当ホテルが旅館業法第5条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。なお、本条による契約の解除により生じた損害については、当ホテルは一切責任を負いません。

- (1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。
- (2) 宿泊客が次のイからハに該当すると認められるとき。
 - (イ) 暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - (ロ) 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - (ハ) 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの
- (3) 宿泊客が他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
- (4) 宿泊客が特定感染症の患者等であるとき。
- (5) 宿泊に際し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき（宿泊客が障害者差別解消法第7条第2項又は第8条第2項に規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。）。
- (6) 宿泊客が、当ホテルに対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返したとき。
- (7) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊せることができないとき。
- (8) 岐阜県旅館業法施行条例第5条の規定する場合に該当するとき。
- (9) 宿室での寝たまご、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項（火災予防上必要なものに限る。）に従わないとき。
- (10) 宿泊客が、当ホテルの許可なく、盲導犬、介助犬その他の法令により同伴が認められている補助犬を除き、ベットその他の動物を客室内又は館内に持ち込んだとき。

2. 宿泊客が当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだに提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

3. 宿泊客は、当ホテルに対し、当ホテルが本条に基づいて宿泊契約を解除した場合、その理由の説明を求めるることができます。

第9条【宿泊の登録】

宿泊者は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を当ホテルに登録していただきます。

- (1) 宿泊客の氏名、住所及び連絡先
- (2) 日本国内に住所を有しない外国人にあたっては、国籍及び旅券番号
- (3) その他当ホテルが必要と認める事項。

2. 宿泊客が第13条の料金の支払いを、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

第10条【客室の使用時間】

宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、15:00から翌日10:00までとします。ただし、連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。

2. 当ホテルは、前項の規定にかわらず、チェックアウトタイムをこえて客室の使用に応ずる場合があります。この場合においては、次に掲げるとおり追加料金を申し受けます。

- (1) 午後1時まで
シングルルーム…￥1,500/1時間当たり
ダブル／ツインルーム…￥2,500/1時間当たり
- (2) 午後1時以降まで超過の場合は室料金の100%

第11条【利用規約の厳守】

宿泊者は、当ホテル内において当ホテルが定めた当ホテル内に掲示した利用規約に従っていただきます。

第12条【営業時間】

当ホテルのフロントの営業時間は次のとおりとし、その他の施設等の営業時間は備え付けのパンフレット、各所の掲示、客室内のご利用案内等でご案内いたします。

- (1) 門限 なし
- (2) フロント 5:00～24:00

2. 前項の時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することができます。その場合には適当な方法をもってお知らせいたします。

第13条【料金の支払い】

宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳及びその算定方法は、別表第1に記載するところによります。

2. 宿泊料金等の支払いは、国内通貨又は当ホテルが認めたクレジットカード、宿泊券により宿泊客の到着の際、又は、当ホテルが請求した時、フロント又は自動精算機にておこなっていただきます。

3. 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、客室の使用が可能になったら、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

第14条【当ホテルの責任】

当ホテルの宿泊に関する責任は、宿泊客が当ホテルのフロントにおいて宿泊の登録を行ったとき、又は客室に入ったときのいずれか早い時に始まり、宿泊者が出発するため客室をあけたときに終ります。

2. 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当り、又

はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責任に帰すべき理由によるものでないときはこの限りではありません。

第15条【契約した客室の提供ができないときの取扱い】

当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。

2. 当ホテルは、前項の規定にかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができるないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

第16条【寄託物の取り扱い】

宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、減少、毀損等の損害が生じた時は、それが不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償いたします。ただし、現金及び貴重品については、その種類及び価額の明告を求めた場合であって、宿泊客がそれをおこなわなかったときは、当ホテルは金10万円を限度としてその賠償をいたします。

2. 宿泊客が、当ホテル内にお持込みになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについては、一切責任を負いません。ただし、当ホテルの故意又は過失により減少、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルは、その損害を賠償します。

第17条【宿泊客の手荷物または携帯品の保管】

宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限り責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡します。

2. 宿泊客が、当ホテルに手荷物又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについては、一切責任を負いません。ただし、当ホテルの故意又は過失によって責任を負うものとします。

3. 前2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第1項の場合にあっては前条第1項の規定に、前項の場合にあっては同条第2項の規定に準じるものとします。

第18条【駐車の責任】

宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当ホテルの故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任します。

第19条【宿泊客の責任】

宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償して頂きます。

2. 客室での喫煙が判明した際は、休業補償として7日間相当の室料を請求させて頂きます。
※電子タバコをご使用された場合も同じ対応とさせて頂きます。

3. 宿泊客が本約款又は利用規約に違反し、客室の特別清掃、消臭、修繕、又は営業の中断等が必要となった場合、当ホテルは、その実費相当額を宿泊客に請求することができます。

第20条【免責事項】

当ホテル内からのコンピューター通信のご利用にあたりましては、お客様ご自身の責任にて行うものといたします。コンピューター通信のご利用中にシステム障害その他の理由によりサービスが中断し、その結果利用者がかかる損害を受けた場合においても、当ホテルは一切の責任を負いません。また、コンピューター通信のご利用に当ホテルが不適切と判断した行為により、当ホテルおよび第三者に損害が生じた場合、その損害を賠償していただきます。

第21条【管轄及処理法】

本約款について生じる一切の紛争については、当ホテルの所在地を管轄する裁判所において、日本の法令に従い解決されるものとします。

第22条【支配する言語】

この約款は日本語と英語で作成されますが、その文の間に不一致または相違があるときは、すべて日本文によるものとします。

■別表第1宿泊料金の内訳（第2条第1項及び第13条第1項関係）

		内訳					
宿泊料金が支払うべき総額	税金	①基本宿泊料〔室料（または室料+朝食料）〕					
		②駐車場及びその他の利用料金					
		③消費税・入湯税・宿泊税					

注:宿泊税は高山市条例に基づき算出いたします。

税法が改正された場合は、その改正された規定によるものとします。

■別表第2 違約金（第7条第2項関係）

契約申込室数	1室～9室	10室～19室	20室以上	契約解除の通知を受けた日					
				不泊	当日	前日	3日前	9日前	14日前
				100%	50%	30%	—	—	—
				100%	70%	70%	50%	20%	10%
				100%	80%	80%	60%	30%	20%

1. %は、基本宿泊料に対する違約金の比率です。

2. 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数に関わりなく、1日分（初日）の違約金を收取します。

3. 違約日の1週間前に宿泊者すべての名簿提出をお願い致します。ご提出頂けない場合は、当館にてキャンセル処理をさせて頂きます。

Accommodation Terms and Conditions

Article 1. [Scope of Application]

Contracts for Accommodation and related agreements to be entered into between this Hotel and the Guest to be accommodated shall be subject to these Terms and Conditions. Any particulars not provided for herein shall be governed by laws and regulations and/or generally accepted practices.

2. In the case when the Hotel has entered into a special contract with the Guests insofar as such special contract does not violate laws and regulations and generally accepted practices, notwithstanding the preceding Paragraph, the special contract shall take precedence over the provisions of these Terms and Conditions.

Article 2. [Application for Accommodation Contracts]

A Guests who intends to make an application for an Accommodation Contract with the Hotel shall notify the Hotel of the following particulars;

- (1) Name of the Guest (s)
- (2) Date of accommodation and estimated time of arrival
- (3) Accommodation Charges (based, in principle, on the Basic Accommodation Charges listed in the Attached Table No.1) and payment method
- (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.

2. In the case when the Guests requests, during their stay, extension of the accommodation beyond the date in Paragraph 2 of the preceding Article, it shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the time such requests are made.

Article 3. [Conclusion of Accommodation Contracts, etc.]

A Contract for Accommodation shall be deemed to have been concluded when the Hotel has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article. However, the same shall not apply when it has been proved that the Hotel has not accepted the application.

2. When a Contract for Accommodation has been concluded in accordance with the provision of the preceding Paragraph, the Guest is requested to pay an accommodation deposit fixed by the Hotel within the limits of Basic Accommodation Charges covering the Guest's entire period of stay by the date specified by the Hotel.

3. The deposit shall be first used for the Total Accommodation Charges to be paid by the Guests, then secondly for the cancellation charges under Article 6 and thirdly for the reparations under Article 19 as applicable, and the remainder, if any, shall be refunded at the time of the payment of the Accommodation Charges as stated in Article 13.

4. When the Guest has failed to pay the deposit by the date as stipulated in Paragraph 2 of Article 3, the Hotel shall treat the Accommodation Contract as invalid. However, the same shall apply only in the case where the Guest is thus informed by the Hotel when the period of payment of the deposit is specified.

Article 4. [Special Contracts Requiring No Accommodation Deposit]

Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding Article, the Hotel may enter into a special contract requiring the accommodation deposit after the Contract has been concluded as stipulated in the same Paragraph.

2. In the case when the Hotel has not requested the payment of the deposit as stipulated in Paragraph 2 of the preceding Article and/or has not specified the date of the payment of the deposit at the time the application for an Accommodation Contract has been accepted, it shall be treated as that the Hotel has accepted a special contract prescribed in the preceding Paragraph.

Article 5. [Request for cooperation in infection prevention measures]

In accordance with the provisions of Article 4-2 of the Ryokan Business Law, this hotel may request the cooperation necessary for the prevention of specified infectious diseases from those who intend to stay at the hotel.

Article 6. [Refusal of Accommodation Contracts]

The Hotel may not accept the conclusion of an Accommodation Contract under any of the following causes. However, this paragraph does not mean that our hotel may refuse accommodation in cases other than those listed in Article 5 of the Hotel Business Act.

(1) When the application for accommodation does not conform with the provisions of these Terms and Conditions.

(2) When the Hotel fully booked and no room is available.

(3) When the Guest seeking accommodation is deemed liable to conduct himself in a manner that will contravene the laws or act against the public order or good morals in regard to his accommodation.

(4) When the person who intends to lodge is recognized to fall under A-C below.

A) Gangs defined in Act on Prevention of Unfair Conducts by Gangsters (Act No. 77 of 1991) Article 2 Item 2 (hereinafter referred to as "gang").

gangsters defined in Article 2 Item 6 of the said act (hereinafter referred to as "gangsters"), gangs' quasi-members, gang-related individuals, and other anti-social forces

B) In the case of a corporation or some organization business activities of which are controlled by a gang or gangsters

C) In the case of a corporation directors of which fall under gangsters

(5) When the Guest seeking accommodation acts disruptively or dangerously, causing distress to other Guests, or behaves in any other way which may cause trouble for the facility or other Guests.

(6) When the Guest seeking accommodation is a patient with a specified infectious disease, etc. as defined in Article 4-2, Paragraph 1, Item 2 of the Inns and Hotels Act (hereinafter referred to as "patient with a specified infectious disease").

(7) When a violent demand is made regarding accommodation or a burden exceeding a reasonable range is demanded (Act on Promotion of Elimination of Discrimination on the Grounds of Disability (Act No. 65 of 2013) (hereinafter referred to as the "Act on Eliminating Discrimination against Persons with Disabilities") (excluding cases in which social barriers are requested to be removed pursuant to the provisions of Article 7, Paragraph 2 or Article 8, Paragraph 2).

(8) When the Guest seeking accommodation make a request to the hotel that would impose an excessive burden on the hotel and may seriously impede the provision of accommodation-related services to other guests under Article 5-6 of the Ordinance for Enforcement of the Hotel Business Act.

(9) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities, dysfunction of the facilities and/or other unavoidable causes.

(10) When the case falls under Article 5 of the Enforcement Ordinance of the Gifu Prefecture Hotel Business Act.

2. If the hotel does not agree to conclude an accommodation contract based on the preceding article and the article before the preceding article, the person who intends to stay may request an explanation of the reason.

Article 7. [Right to Cancel Accommodation Contracts by the Guest]

The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by notifying the Hotel

2. In the case when the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes for which the Guest is liable (except in the case when the Hotel has requested the payment of the deposit during the specified period as prescribed in Paragraph 2 of Article 3 and the Guest has cancelled before the payment), the Guest shall pay cancellation charges as listed in the Attached Table No. 2. However, in the case when a special contract as prescribed

in Paragraph 1 of Article 4 has been concluded, the same shall apply only when the Guest is informed of the obligation of the payment of the cancellation charges in case of cancellation by the Guest.

3. In the case when the Guest does not appear by 8 p.m. of the accommodation date (or 2 hours after the expected time of arrival if the Hotel is notified of such) without an advance notice, the Hotel may regard the Accommodation Contract as being cancelled by the Guest.

Article 8. [Right to Cancel Accommodation Contracts by the Hotel]

The Hotel may cancel the Accommodation Contract under any of the following cases. Furthermore, this paragraph does not mean that our hotel may refuse accommodation in cases other than those listed in Article 5 of the Hotel Business Act. Please note that the hotel will not be responsible for any damage caused by cancellation of the contract pursuant to this article.

(1) When the Guest is deemed to be at risk of committing an act that violates the provisions of laws and regulations, public order, or good morals regarding accommodation, or when it is recognized that the Guest has committed the same act.

(2) When the guest is deemed to fall under A-C below.

A) Gangs, gangsters, gang quasi-members, gang-related individuals, and other anti-social forces.

B) In the case of a corporation or some organization business activities of which are controlled by a gang or gangsters.

C) In the case of a corporation directors of which fall under gangsters.

(3) When the Guest seeking accommodation acts disruptively or dangerously, causing distress to other Guests, or behaves in any other way which may cause trouble for the facility or other Guests.

(4) When the Guest seeking accommodation is a patient with a specified infectious disease.

(5) When a violent demand is made regarding accommodation or a burden exceeding a reasonable range is demanded (Act on Promotion of Elimination of Discrimination on the Grounds of Disability (Act No. 65 of 2013) (hereinafter referred to as the "Act on Eliminating Discrimination against Persons with Disabilities") (excluding cases in which social barriers are requested to be removed pursuant to the provisions of Article 7, Paragraph 2 or Article 8, Paragraph 2).

(6) When the Guest seeking accommodation make a request to the hotel that would impose an excessive burden on the hotel and may seriously impede the provision of accommodation-related services to other guests under Article 5-6 of the Ordinance for Enforcement of the Hotel Business Act.

(7) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities, dysfunction of the facilities and/or other unavoidable causes.

(8) When the case falls under Article 5 of the Enforcement Ordinance of the Gifu Prefecture Hotel Business Act.

(9) When the Guest brings a pet or other animal into their guest room or the hotel premises without the hotel's permission, except for guide dogs, service dogs, or other assistance dogs permitted by law.

2. In the event that the hotel cancels the accommodation agreement based on any of the above items, the guest in question shall not be liable for payment for any accommodation services not yet delivered.

3. If the hotel cancels the accommodation contract based on this article, the guest may request an explanation of the reason.

Article 9. [Registration]

The guest shall register the following particulars at the front desk of the hotel on the day of accommodation:

- (1) Name, address and contact information.
- (2) For foreigners who do not have an address in Japan, nationality and passport number.
- (3) Other particulars deemed necessary by the hotel.

2. If the Guest intends to pay the charges set forth in Article 13 using a method that can be substituted for currency, such as an accommodation voucher, or credit card, the Guest must present these in advance at the time of registration as set forth in the preceding paragraph.

Article 10. [Occupancy hours of guestrooms]

The guest is entitled to occupy the contracted guestroom of the hotel from 3p.m. to 10a.m. of the next day. However, in the case when the guest is accommodated continuously, the guest may occupy it all day long, except for the days of arrival and departure.

2. The hotel may, notwithstanding the provisions prescribed in the preceding paragraph, permit the guest to occupy the room beyond the time prescribed in the same paragraph. In this case, extra charges shall be paid as follows:

(1) Up to 1p.m. ---Single Room ¥1,500/ hour
---Double/Twin Room ¥2,500/ hour

(2) After 1p.m. room charge in full

Article 11. [Strict Compliance with Terms of Use]

Guests shall comply with the Terms of Use established by the Hotel and posted within the Hotel premises during their stay.

Article 12. [business hours]

The business hours of the hotel's front desk are as follows, and the business hours of other facilities will be announced in the pamphlets provided, on notices in various places, and in the guest rooms.

(1) Curfew None

(2) Front 5:00 - 24:00

2. The business hours specified in the preceding paragraph are subject to temporary changes due to unavoidable causes. In such a case, the guest shall be informed by appropriate means.

Article 13. [Payment of accommodation charges]

The breakdown and method of calculation of the accommodation charges, etc. that the guest shall pay is as listed in the attached table no.1.

2. Accommodation charges, etc., must be paid in domestic currency, by credit card or accommodation voucher approved by the hotel, at the front desk or at an automatic payment machine upon arrival of the guest, or when requested by the hotel.

3. Even if the hotel provides a guest room to the guest and the guest voluntarily chooses not to stay after the guest is able to use the guest room, the accommodation fee will still be charged.

Article 14. [Responsibilities of the hotel]

The hotel's responsibility for accommodation begins when the guest registers for accommodation at the front desk of the hotel or enters the guest room, whichever comes first, and ends when the guest vacates the guest room for departure.

2. The hotel is responsible for remuneration of damages to guests if a guest suffers any damage resulting from the hotel's performance of duties related to the accommodation agreement, or from any failure of the hotel to perform said duties. The hotel shall not be held responsible for any damage to guests that is not the fault of the hotel.

Article 15. [Handling when unable to provide contracted rooms]

The hotel shall, when unable to provide contracted rooms, arrange accommodation of the same standard elsewhere for the guest insofar as practicable with the consent of the guest.

2. When arrangement for other accommodation cannot be made, notwithstanding the provisions of the preceding paragraph, the hotel shall pay the guest a compensation fee equivalent to the cancellation charges and the compensation fee shall be applied to the reparations. However, when the hotel cannot provide accommodation due to causes for which the hotel is not liable, the hotel shall not be liable to compensate the guest.

Article 16. [Handling of deposited articles]

The hotel shall compensate the guest for the damage when loss, breakage or other damage is caused to the goods, cash or valuables deposited at the front desk by the guest, except in the case when this has occurred due to causes of force majeure. However, for cash and valuables, when the hotel has requested the guest to report its kind and value but the guest has failed to do so, the hotel shall compensate the guest within the limits of 100,000 yen.

2. The hotel is not responsible for any goods, cash or valuables brought into the hotel by the guest and not deposited at the front desk. However, if damage such as loss or breakage occurs due to intentional or negligent behavior on the part of the Hotel, the Hotel will compensate for the damage within the limits of 100,000 yen.

Article 17. [Custody of baggage and/or belongings of the guest]

When the baggage of a guest is brought into the hotel before guest's arrival, the hotel shall be liable to keep it only should request have been accepted by the hotel. The baggage shall be handed over to the guest at the front desk at the time of guest's check-in.

2. When the baggage or belongings of the guest are found left after guest's check-out, and the ownership of the article is confirmed, the hotel shall inform the owner of the article left and ask for further instructions. When no instruction is given to the hotel by the owner or when the ownership is not confirmed, the item will be kept for 15 days including the date of discovery and then disposed of.

3. The hotel's liability in regard to the custody of a guest's baggage and belongings in the case of the preceding two paragraphs shall be assumed in accordance with the provisions of paragraph 1 of the preceding article in the case of paragraph 1, and with the provisions of paragraph 2 of the same article in the case of paragraph 2.

Article 18. [Liability in regard to parking]

The hotel shall not be liable for the custody of the vehicle of the guest when the guest utilizes the parking lot within the premises of the hotel, as it shall be regarded that the hotel simply offers the space for parking, whether the key of the vehicle has been deposited to the hotel or not. However, the hotel shall compensate the guest for the damage caused through intention or negligence on the part of the hotel in regard to the management of the parking lot.

Article 19. [Liability of the guest]

The guest shall compensate the hotel for the damage caused through intention or negligence on the part of the guest.

2. If smoking is found in the guest room, we will charge you the equivalent of 7 days' worth of room charges as compensation for the closure.

*The same measures will apply if you use electronic cigarettes.

3. If a guest violates these Terms and Conditions or the Terms of Use, and such violation results in the need for special cleaning, deodorization, repairs, or suspension of room sales, the Hotel may charge the Guest for the actual costs incurred.

Article 20. [Disclaimer]

The use of the communication services from within the Hotel shall be at the user's own risk. The Hotel shall not be liable for any loss or damage incurred by the user due to unforeseen interruption of communication services, system failure, or any other reasons that results in communication loss. In the event that the Hotel or any third party suffers damage as a result of the use of the communication services, the user responsible shall be liable for compensation of damages.

Article 21. [Jurisdiction and applicable law]

All disputes arising regarding these terms and conditions shall be resolved in accordance with Japanese laws and regulations in the court with jurisdiction over the location of our hotel.

Article 22. [Language]

These terms and conditions are written in both Japanese and English, but the Japanese text shall prevail in the event of any discrepancy or differences between the two.

■Attached table no.1

Table of charges for lodging and miscellaneous expenses

(Regarding paragraph 1 of article 2 and paragraph 1 of article 13)

Total amount to be paid by a registered guest	
(1) Accommodation	Basic accommodation charges (room charge or room charge + breakfast charge [when included in the basic room charge])
(2) Additional	Parking fee and other relevant charges.
(3) Taxes	Consumption tax Bathing tax Accommodation tax

Notes:

The accommodation tax will be calculated based on Takayama City regulations. In the event tax laws are modified, the latest modified version shall be applicable to all charges listed above.

■Attached table no.2

Cancellation charge for hotels (Regarding paragraph 2 of article 7)

Number of Rooms	1-9 Rooms	Day notified of cancellation					
		No-show	Same-day	Previous day	3 days before	9 days before	14 days before
	10-19 Rooms	100%	50%	30%	—	—	—
	20 Rooms or more	100%	80%	80%	60%	30%	20%

Remarks:

1. The percentage signifies the rate of cancellation charge to the basic accommodation charges.

2. When the number of days contracted is shortened, a cancellation for the first day shall be paid by the guest regardless of the number of days shortened.

3. Please submit a list of all guests at least one week before your stay. If you cannot submit it, we will process the cancellation at our facility.